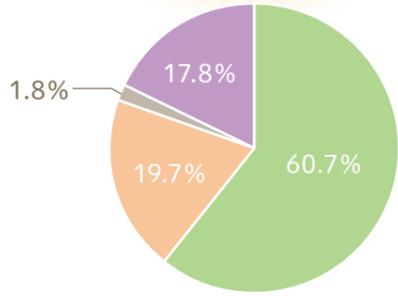


琴浦町の現状

社会全体で男女平等を感じますか？



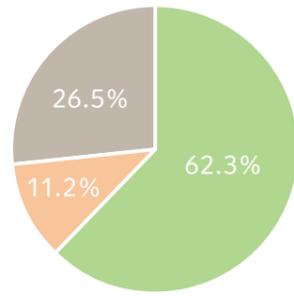
- 男性が優遇・やや優遇
- 男女平等
- 女性が優遇・やや優遇
- わからない・無回答

男女平等と感じている人の割合は6年前の意識調査からやや増えたものの、まだまだ男性優遇と感じている人は多いようです。

令和4年琴浦町男女共同参画に関する意識調査より

家庭の仕事※の役割分担は？

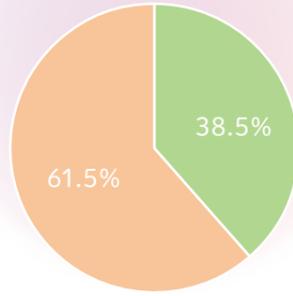
※食事のしたく・片づけ、掃除、洗濯、ゴミ出し



- 主に女性
- 主に男性
- 性別にかかわらず同程度分担

共働き世帯が増えている一方で、家事についてはいまだに女性側の負担が大きいです。

行政における委員会などの女性の登用率は？



- 女性
- 男性

政策・方針決定過程への女性の参画状況は年々改善され、約4割まで増えました。

第4次

琴浦町 男女共同参画 プラン

2023 令和5年度

2027 令和9年度

性別にかかわらず

誰もが生き生きと暮らせる社会づくり

男女共同参画社会って、どんな社会？



家庭では

男性の参画が進めば、女性の負担が軽減されるだけでなく、家族みんなにとって家庭が充実したものになります



職場では

働きやすい職場環境を整えば、一人ひとりの活躍の場が広がり、職場に活気が出ます



学校では

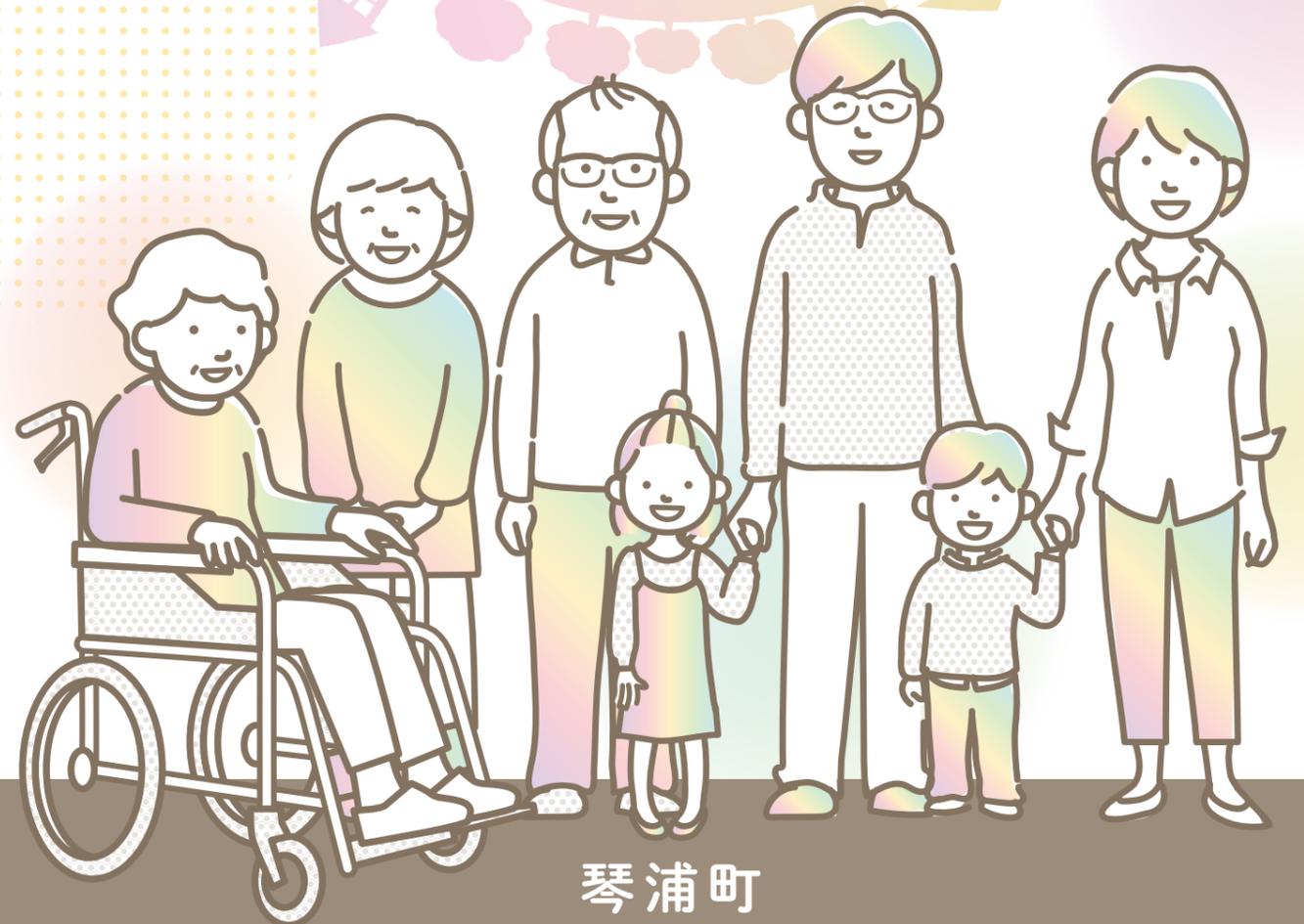
お互いを尊重し合い、一人ひとりの個性を伸ばすことで、子どもたちの未来を拓きます



地域社会では

あらゆる人の声が届くことで、誰もが住みよいまちづくりに、そして地域力の向上につながります

一人ひとりが個性と能力を発揮でき、心豊かに生き生きと暮らすことができる社会



琴浦町



本編は琴浦町ホームページからご覧いただけます。
<https://www.town.kotoura.tottori.jp/>

〒689-2392 鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万591-2
琴浦町役場 企画政策課
TEL : 0858-52-1708 FAX : 0858-49-0000

基本テーマ

1

男女共同参画を実現するための社会づくり



重点目標(1)

子どもから大人まで、男女共同参画への理解促進

男女共同参画への理解を深め、一人ひとりが望む生き方を認め・認められる社会をつくるために、子どもの頃からの教育を進めます。

また、あらゆる年齢層へも理解促進に向けた啓発活動を行います。

- ①子どもの頃からの男女共同参画に関する教育の推進
- ②生涯を通じて男女共同参画を学習できる機会の提供

目指す姿

性別にかかわらず、一人ひとりが輝く共生のまち



基本テーマ

基本テーマ

2

誰もが活躍できる環境づくり

重点目標(2)

家族みんなで協力し合う家事・子育て・介護の推進



女性の負担を軽減し、女性が職場や地域等で「自分らしく」活躍できる時間を確保するために、家庭の仕事は家族みんなで協力するように機運を高めます。

- ①男性の家事・子育て・介護への参画促進
- ②性別にかかわらず仕事と子育てや介護が両立できるための支援

重点目標(3)

誰もが働きやすい環境づくりの推進



一人ひとりが活躍できる職場環境づくりが進むように企業へ働きかけるとともに、柔軟な働き方ができる職場環境づくりを推進します。

- ①性別にかかわらず、一人ひとりが能力を発揮できる環境づくりの推進
- ②妊娠～出産、子育て、介護や更年期等の時期に柔軟に働ける環境づくりの促進

重点目標(4)

性別にかかわらず、地域社会活動等に参加できる環境づくり

みんなが意見しやすく、みんなの声が届く、そして参加しやすくなる地域社会づくりの実現に向けて、各地区での理解促進を図ります。

- ①自治会等、地域社会活動における男女共同参画の推進
- ②政策・方針決定過程への女性の参画推進

基本テーマ

3

誰もが安心して暮らせる地域・社会づくり

重点目標(5)

性別による差別・暴力をなくす社会づくり

性差別や暴力による被害者をなくし、暴力を容認しない社会の実現を目指して普及啓発に取り組みます。

- ①暴力を許さない地域社会づくり
- ②誰もが相談しやすい環境づくり

重点目標(6)

安心・安全の環境づくり

防災・災害復興において男女共同参画の視点を取り入れ、すべての人が安心して暮らすことができる環境を整えます。また、心身ともに誰もが健康でいられるように、安心して相談できる環境づくりを進めます。さらに、お互いの違いを認め合い、多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きることができる環境づくりを進めます。

- ①防災における男女共同参画の推進
- ②こころの健康（メンタルヘルス）を確保するための取り組みの推進
- ③多様な性への理解促進

